



新年のごあいさつ

担当理事 島 秀行



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年度、当臨床検査センターでは液状細胞診検査を開始することができました。また、職場内での取り組みとして「5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躰）」を始めましたが、職員の積極的な参加も伴い、良い成果を挙げつつあるようです。

本年度は、タンデムマス法を用いた新生児マス・スクリーニング検査を2月より実施いたします。そして、バージョンアップしましたWOLF（診療支援ツール）の導入促進や、広島県で検討する「IT活用による地域医療連携」の準備を引き続き行ってまいります。

昨年実施されました日本臨床衛生検査技師会主催の精度管理調査では、100点満点という大変素晴らしい評価を頂くことができました。これらも全て会員の皆様からのご指導、ご鞭撻の賜物であると、感謝しております。今後はこの評価をさらに高めるべく、より一層の精度管理の向上とサービスの充実を行ってまいります。

今後も医療界におきましても様々な変革が訪れるのではないかとわれ、未だ混沌とした見通しの立ちにくい社会情勢ではございますが、そのような時代だからこそ、皆様から信頼されるような臨床検査センターを目指して邁進していく所存でございます。

本年度も皆様からのご意見やご要望にお応えすることができるよう職員一同努めてまいりますので、引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。